小４	♦森林とともに生きる♦ 下巻１８回

氏名		得点		各10点 150点

1	日本の国土の約（　分の　）は森林である。	分の	
2	昔から村や田畑のまわりに見られ、人々の生活に役立ち、人々に守られてきた山を（　）という。		
3	雨水などは、いったん森林にたくわえられて、少しずつ川などに流れ出ていく。このようなことから森林は（　）と呼ばれる。		
4	自然の力で育った森林を（①）といい、人が育てた森林を（②）といいます。	①	②
	問５～６までは以下の記号から選べ。 ア、まつ　イ、ぶな　ウ、しい　エ、すぎ		
5	成長が早く、まっすぐ伸びることから、主に木材を生産する目的で、針葉樹（しんようじゅ）が植えられてたが、針葉樹を記号で２つ選べ。		
6	広葉樹（こうようじゅ）も水をたくわえたり、腐葉土（ふようど）をつくったりさまざまな働きをしているが、広葉樹を記号で２つ選べ。		
7	林業の仕事のうち、木の成長をさまたげる草をかることを（　）という。		
8	林業の仕事のうち、節のない木材をつくるために、下枝を切り落とすことを（　）という。		
9	林業の仕事のうち、日当たりを良くするため、成長の悪い木を切ることを（　）という。		
10	秋田県と青森県の境の白神山地（しらかみさんち）は（①）の原生林、屋久島では（②）の原生林が広がっています。	①	②
11	青森県では津軽（①）、秋田県では秋田（②）、長野県では木曽ひのきが有名である。これを天然の三大美林という。	①	②

12	水源林など、人間の生活に役立ってる森林の中でも、特に重要なものを（　）といい、国などが保護（ほご）している。	
13	現在、日本では、国産の木材と外国から輸入された木材のうち、どちらが多く使われているか。	
14	人々が土地などを買い取って、美しい自然や建物を守ろうとする運動を（　）という。埼玉県の「トトロの森」が有名である。	
15	動物や植物から得たもので、捨てられるものや使われないものを、エネルギーを得るために利用することがある。これを（　）燃料という。	

小４	♦森林とともに生きる♦ 下巻１８回

氏名	満点　とれ太	得点		各10点 150点

1	日本の国土の約（　分の　）は森林である。	３分の２	
2	昔から村や田畑のまわりに見られ、人々の生活に役立ち、人々に守られてきた山を（　）という。	里山	
3	雨水などは、いったん森林にたくわえられて、少しずつ川などに流れ出ていく。このようなことから森林は（　）と呼ばれる。	緑のダム	
4	自然の力で育った森林を（①）といい、人が育てた森林を（②）といいます。	①天然林	②人工林
	問５～６までは以下の記号から選べ。 ア、まつ　イ、ぶな　ウ、しい　エ、すぎ		
5	成長が早く、まっすぐ伸びることから、主に木材を生産する目的で、針葉樹(しんようじゅ)が植えられてたが、針葉樹を記号で２つ選べ。	ア	エ
6	広葉樹(こうようじゅ)も水をたくわえたり、腐葉土(ふようど)をつくったりさまざまな働きをしているが、広葉樹を記号で２つ選べ。	イ	ウ
7	林業の仕事のうち、木の成長をさまたげる草をかることを（　）という。	下草(したくさ)がり	
8	林業の仕事のうち、節のない木材をつくるために、下枝を切り落とすことを（　）という。	枝打ち	
9	林業の仕事のうち、日当たりを良くするため、成長の悪い木を切ることを（　）という。	間伐(かんばつ)	
10	秋田県と青森県の境の白神山地(しらかみさんち)は（①）の原生林、屋久島では（②）の原生林が広がっています。	①ぶな	②すぎ
11	青森県では津軽（①）、秋田県では秋田（②）、長野県では木曽ひのきが有名である。これを天然の三大美林という。	①ひば	②すぎ

12	水源林など、人間の生活に役立ってる森林の中でも、特に重要なものを（　）といい、国などが保護（ほご）している。	保安林（ほあんりん）
13	現在、日本では、国産の木材と外国から輸入された木材のうち、どちらが多く使われているか。	外国から輸入された木材 （ただし近年、国産も増加傾向にある）
14	人々が土地などを買い取って、美しい自然や建物を守ろうとする運動を（　）という。埼玉県の「トトロの森」が有名である。	ナショナルトラスト
15	動物や植物から得たもので、捨てられるものや使われないものを、エネルギーを得るために利用することがある。これを（　）燃料という。	バイオマス